

農的暮らしをデザインしよう ④



ヒクマや野ウサギが遊びに来る大平原のナチュラルハウス。

木組みの良さが伝わる2階のLDKは、冬もマキストーブだけで暖かい。

エコデザイナー 西條 正幸

1960年伊達市生まれ。札幌を中心にナチュラルスタイルの店舗、住宅の空間デザイナーとして活動。自然素材にこだわった新築、リフォームの設計、施工会社「ビオプラス西條デザイン」代表取締役。自然派生活提案「えこすた」店主。

「自然素材デザイナー西條正幸のブログ」もヨロシク!

えこすたとは

エコロジー、エコノミー、スタンダード、ライフスタイルなどを合わせて僕たちがつくった造語です。健康な住まいは安全な食品と変わらないと言うコンセプトのもと、エコハウスづくりのための自然建材を扱うエコショップの店名にもなっているのです。

大自然の中で暮らす アースツアー

積丹岳の麓で、昨年から有機農業をはじめた阿部さんご夫婦。実は僕達が主催するNPO組織であるエコビレッジ実行委員会の『エコロジ住宅学校』を2001年の開校時から、熱心に受講していた卒業生だ。

その当時から、いすれはどこか理想の土地を見つけて自給自足的暮らしを実現しようと企んでいたようである。ニトリの平飼いや有機農法を実践する農家で勉強をしながら、理想の土地として選んだのが積丹の大平原。環境に与えるリスクの少ないナチュラルハウスをできる限りセルフビルドで建設しながら、畑を起こし作物を育てるといった、とてもなくハードな1年がはじまった。無農薬、無化学肥料で野菜を育てると同じように、住まいにも化学物質を持ち込まないよう自然素材で家を建てたのである。そんな阿部さんご夫婦が、昨年完成し

た住まいと有機農園に名づけたネーミングは「のんのん・ふあーむ」。ご夫婦の愛称からとった、ホットな名である。

僕達が訪れたのは、エコロジ住宅学校の番外編として企画した2008アースツアーのオーガニックファーム体験の宿泊訪問先としてだった。近所のカラマツ林を管理する新宮商工株さんの社有林を見学したり、ファーム内で自生したドングリの小さな苗木を移植したり、ジャガイモ堀りのお手伝い。参加者みんなで、有機野菜料理や自慢の天然酵母と有機栽培の全粒粉で焼いたパンをいただくなど、とても楽しいひと時を過ごした。素朴だけれど大地の恵みを感じることでできる食事と、ナチュラルハウスでの体験は衣食住の健康、自然の大切さ、地球環境への配慮などを感じることのできるいい機会となった。



上 道産トドマツを木酢液に漬け込んだ外壁とウッドデッキ。
左 アースツアーの朝食には手づくりパンと有機野菜やくだものかならぶ。
右 のんのん・ふあーむではシーズン中の毎週土曜日、小樽都通商店街の無農薬野菜市場に出店。

おいしい有機野菜のお問い合わせは
のんのん・ふあーむ
TEL. 0135-44-3627



大工さんが浴槽まで手作りにした青森ヒバのお風呂。

「のんのん・ふあーむ」のナチュラルハウスには、阿部さんご夫婦の自慢がいくつもある。厳選された自然素材はもちろんのこと、ご主人のイチオシは、バクテリアの力で汚水を浄化したうえで、最後は畑の液体肥料にしているBMWという浄化システム。バクテリアのB・ミネラルのM・水浄化のWを合わせた造語で、屋外に手づくりされた好気性のバクテリアとエアレーションの入った大バケツを3つぐくって、最後は水性植物によって最終処理されます。ヨーロッパで見たリビングマシーンと呼ばれる浄化システムのミニ版といったところだろうか。

もうひとつの自慢は、収穫した野菜を貯蔵する丘室。鉄筋コンクリート外断熱の部屋を土で覆い、さらに断熱して寒さから野菜を守る。春になって温度が上がってきたら、今度は室の中に雪を入れて温度を下げるといったゼロエネルギーの貯蔵庫なのだ。

母屋の暖房とお風呂の湯沸しは薪燃料のストーブ。電気を使わず自然換気を装備した、アナログチックな自然派スタイルのライフスタイルにぴったりの住まいだった。



母屋とつながる野菜貯蔵用の丘室。セルフビルドでほとんど奥さんが仕上げた珪藻土の壁仕上げ。



浄化池とBMWのポンプ小屋(このときはまだ外貼りが未完成)。

菜園でつながる、暮らしの輪。



北海道の木の家 + 畑のある暮らし。

菜園生活プロジェクト

Bio+ 有限会社
SAIJO DESIGN ビオプラス西條デザイン

www.saijo-d.com

Natural Lifestyle

え こ す た



北海道の木の家 + 畑のある暮らし。

菜園生活プロジェクト

僕達が考える菜園生活プロジェクトとは…

パーマカルチャーの手法を取り入れた住まいを中心に、
持続可能な暮らしのシステムをデザインし、エコビレッジ的暮らしを実践する仕組みのことです。
経済的で使いやすく、環境にも優しい北海道の山の木と自然素材を用いたエコハウスと
有機栽培の野菜を手作りする裏庭菜園を組み合わせたエコライフスタイルの提案です。

札幌伏古菜園生活プロジェクト 参加者を募集開始!

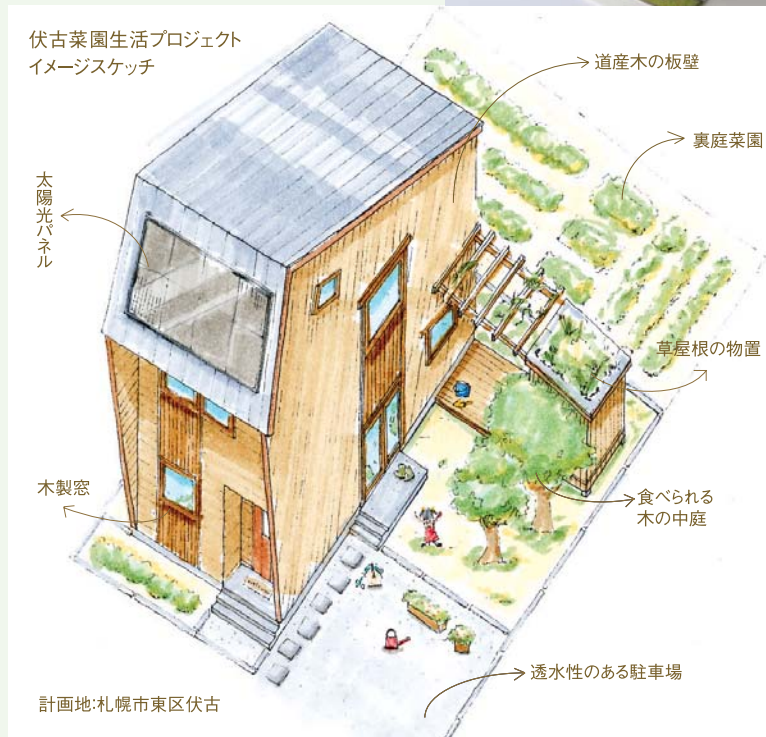
札幌市東区伏古で始まった菜園生活プロジェクトは、生活環境の整った約765㎡(232坪)の土地を4世帯がそれぞれ区分所有し、自由設計でナチュラルハウスを建てる計画です。

裏庭に菜園空間を設けてコミュニティガーデンをつくるプランでは、お隣同士が仲良くなれる仕組みが、開放感のある広いオープンスペースをつくり出す。ここは子供たちの土の遊び場としても大人気間違いなし。また中央に

コモン空間として井戸端広場をつくったプランでは、4世帯すべてがつながり、より仲の良いコミュニティガーデンを作り出す。真正正銘、井戸端会議の復活です。住人を含めいろいろなる方の意見を聞いて、プロジェクトを進めていきたい。伏古に限らず、札幌に限らず、菜園生活プロジェクトを一緒に盛り上げてくれる協力業者さん、そして菜園生活をエンジョイしたい住人の方々のご参加をお待ちしています。



伏古菜園生活プロジェクト
イメージスケッチ



Bio+
有限会社
SAIJO DESIGN

有限会社 ビオプラス西條デザイン

本社:〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1
Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581

伊達支店:〒052-0014 伊達市舟岡町50-28
Tel.0142-22-0138 Fax.0142-22-0139

えこすた会員募集中!
会員になるとエコ情報季刊誌
「えこすた通信」をお届けします。

菜園生活プロジェクトは
www.saijo-d.com

09

資料請求